

## 事例紹介② 碧南市民病院

### 患者さんが簡便かつ快適に検査のできる外来トイレを実現。



今までは和式便器を使い、セッティングや後始末、清掃に時間がかかっていたウロフロメトリー検査。新しい機器の導入によって効率化され、切迫した患者さんを待たせていた問題も解消された。



### 尿流量測定装置の導入とともに 使いやすい検査室・採尿室を整備。

碧南市民病院の泌尿器科では、短期間に限られたスペースで、採尿用のトイレと検査室のトイレをリニューアル。これまで大きな労力を要していたウロフロメトリー検査が快適かつスムーズになりました。看護師さんの作業負担を減らし、患者さんの肉体的・精神的苦痛を軽減するなど、安全な検査の環境が実現しています。

工事工程表 (2011年9月)

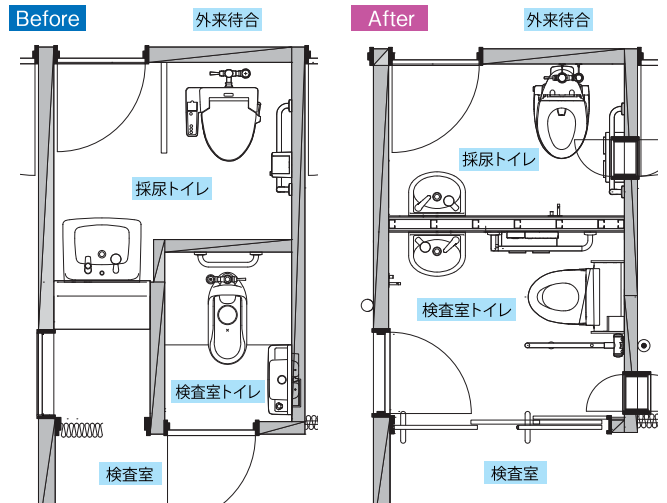
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
外来休診日			診療				外来休診日			診療				
検査室片づけなど	仮設養生 床はつり工事 埋設探知検査 給排水工事 建具工事 など			天井・家具・壁工事 電気工事 など				塗装・仕上げ工事など			尿流量測定装置取付け 建具工事・便器取付け	仕上げ引き渡し説明会	予備日・手直し工事など	
9:00~21:00			17:00~21:00				9:00~21:00			17:00~21:00				
竣工														



病院の基本理念は「温かな心のこもった医療」。

#### 【碧南市民病院 泌尿器科トイレ改修工事】

- 竣工年月 / 2011年10月
- 所在地 / 愛知県碧南市平和町3-6
- 施工主 / 碧南市
- 監理 / トウルムホッホ メディテック株式会社
- 設計施工 / TOTOエンジニアリング株式会社



検査室の入口を広げて2枚扉の引戸にするなど、車いすでも使用できる空間に改善された。

#### 看護師さんからの声

### 新しい測定装置で、効率性も安全性も高まった。

今まではウロフロメトリー検査だけでもたいへんなうえに、床にはねた所を拭いたり、器具を洗うなど、トータルでかなりの時間がかかりました。段差の危険性も解消されて、患者さんの安全を守ることもできますね。

#### 監理担当の方からの声

### 感染対策を向上させ、使いやすい動線も実現した。



トウルムホッホ メディテック株式会社  
代表取締役

若原正幸さん (左)

技術本部 部長

服部三喜さん (右)

清潔に使えて、病院スタッフの方の管理が楽になる設備の導入とともに、患者さんもスタッフも使いやすい動線を考えたスペースへと改修しました。感染対策の上でも、たいへん大きな意味のある改修だったと思います。診療に差し支えないように配慮し、休日と、平日の診療終了後に工事を行いました。病院側の目線で、日々どのような医療を行っているかの状況をよく把握していることも必要だと感じました。

#### 泌尿器科 部長さんからの声

### 連休を利用した工事で、診察に支障が出なかった。



泌尿器科 部長  
栗木修さん

以前はポータブルな測定装置を使っていましたが故障に悩み、検査をする側もされる側も狭いスペースで不便でした。休診せずに水まわりを工事するのは難しいと考えていましたが、9月の連休を使うなど工夫して最新の装置を導入。使いやすい検査室を整備することもできました。患者さんが排泄を観察されることなく、また、大便も同時になってしまうなど検査に失敗しても恥ずかしい思いをせずに、プライバシーを保って検査することができてうれしいです。